

木村定三コレクション「不動明王立像の胎内仏画残欠および修理歴」一式
修理報告書

平成24年度
株式会社 岡墨光堂

1. 文化財の概要

- (1) 名 称 木村定三コレクション「不動明王立像の胎内仏画残欠および修理歴」
(2) 員 数 1 式
(3) 所 有 者 愛知芸術文化センター 愛知県美術館
名古屋市東区東桜一丁目 1 3 番 2 号

2. 工 期

自 平成24年 9 月20日
至 平成25年 2 月20日

3. 施 工 者

- (1) 修理施工者 株式会社 岡墨光堂
(2) 施 工 場 所 京都国立博物館 文化財保存修理所第 3 修理室
(3) 施工担当者 伊加田 剛史

4. 作品の構造等

(1) 品質形状

仏画残欠 主要 4 葉（編注：本書カラー図版p.11, 如来形画像断片（修理前）参照）
修理歴（再興についての文書および包紙）
（編注：本書カラー図版p.9・10, 再興由来書（修理前）参照）

(2) 法 量

【仏画残欠】（縦横の最大寸法を測定）

仏画（頭部）	縦	5.1cm	横	7.0cm
仏画（頸部）	縦	2.2cm	横	2.0cm
仏画（胸部）	縦	8.3cm	横	8.3cm

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

文書	縦	16.9cm	横	65.6cm
包紙	縦	24.1cm	横	34.3cm

(3) 本紙組成

【仏画残欠】

材質 絹糸

組織 平織り

密度 1寸間（3.0cm角）

経 100枚1ツ入 21中（平均）

緯 70本 21中（平均）

（p.54, 本紙等組成写真1～3）

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

材質	雁皮（再興についての文書）	（p.54, 本紙等組成写真4・当社調べ）
	楮（包紙）	（p.54, 本紙等組成写真5・当社調べ）
組織	簀の目	不鮮明（再興についての文書）
		19～20本/寸（包紙）
糸目	不鮮明	（再興についての文書）
	4.5cm	（包紙）
厚さ	0.1233mm	（再興についての文書）
	0.0655mm	（包紙）
密度	0.7228 g /cm ³	（再興についての文書）
	0.3084 g /cm ³	（包紙）

5. 修理前の状況

損傷状況

【仏画残欠】

- ・ 図像顔面、上半分の料絹が彩色層から剥がれ、料絹のみの状態で存在している。また、旧裏打紙の糊離れが見られる（編注：本書カラー図版p.12）。
- ・ 絵具層に粉状化が見られる。
- ・ 納入された状態のまま本紙が折れ曲がっている（編注：本書カラー図版p.12）。

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

- ・ 包紙に虫損が見られる。（包紙）（p.55, 写真3・4）
- ・ 像内から取り出す際に傷んだ箇所が見られる。（包紙）

6. 修理後の状況

（1）品質形状

仏画残欠

修理歴（再興についての文書および包紙）（編注：本書カラー図版p.9・10）

（2）法 量

【仏画残欠】

仏画（頭部・頸部） 縦 7.9cm 横 12.3cm

仏画（胸部） 縦 8.3cm 横 8.6cm

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

文書 縦 16.9cm 横 65.6cm

包紙 縦 24.1cm 横 34.3cm

(3) 使用材料

【仏画残欠】

材料名	製作者
補填絹 電子線劣化絹	廣信織物製
補填絹裏打紙 楮紙	当社製
支持体（肌裏紙）楮紙	当社製
支持体（料絹）電子線劣化絹	廣信織物製
中性紙製マット	特種製紙株式会社製

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

材料名	製作者
補修紙	当社製
詰め物 間似合紙	江渕製

(4) 保存箱等

中性紙製保存箱

7. 修理方針

【仏画残欠】

- ・修理前の状態を調査、記録する。
- ・折れ曲がった本紙を加湿し、伸展・加圧乾燥させる。
- ・絵具層に膠水溶液等を用い剥落止めを施す。
- ・料絹、絵具層間で剥離している箇所を再接着する。
- ・再接着した料絹の内、絵具層及び、支持体のない部分に、新調した支持体を補填する。
- ・準備した補填絹製マットに補強・整形した本紙の位置を確認した後、嵌め込む。
- ・中性紙製マットにマウントし、仕上げる。
- ・中性紙製保存箱を作製し、納入する。

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

- ・修理前の状態を調査、記録する。
- ・文書の表面の塵等を柔らかい筆等を用いて払う。
- ・包紙と同質の補修紙を作製し、調整する。
- ・包紙の欠失部分に補修紙を補填し、補強する。
- ・包紙については、文書を入れず、似通った大きさの詰め物を入れ、元の状態に封印する。
- ・文書、包紙の手入れをし、仕上げる。
- ・中性紙製保存箱を作製し、納入する。

8. 修理工程

【仏画残欠】

(1) 調査、記録

写真撮影し、修理前の状態を記録した。損傷状況、絵具層の状態を顕微鏡等を用いて撮影し記録した（編注：本書p.14,顕微鏡写真撮影箇所図面、p.15・16, 顕微鏡写真）。

(2) 加圧・伸展

変形している本紙に必要最小限の湿りを加え、伸展して、加圧乾燥させた。

(3) 剥落止め

それぞれの絵具層の状態に合わせて、濃度2～3％に調整した膠水溶液を塗布、浸透させ、剥落止めを施した。

(4) 料絹の再接着

料絹、絵具層間で剥離している箇所を再接着した（p.56, 工程写真3・4）。

(5) 支持体の補填

再接着した料絹の内、絵具層及び、支持体のない部分に、新調した支持体を補填し、各葉を補強、整形した（p.57～59, 工程写真5～10）。

(6) 位置の特定

- ・所有者および京都国立博物館保存修理指導室研究員と協議し、三葉の位置を特定し、仕上がり寸法を決定した（本書カラー図版p.14 参考図版）。
- ・三葉の位置および仕上がり寸法に合わせて、補填絹製マットを調製した。
- ・本紙の位置を確認し、三葉をマットに嵌め込んだ。

(7) 仕 上 げ

中性紙製マットにマウントし、仕上げた。

(8) 収 納

- ・位置不明の旧裏打紙および本紙一式に関する断片類の保管のため、楮紙製の小箱を作製し、納入した。
- ・中性紙製保存箱を作製し、納入した。

【修理歴（再興についての文書および包紙）】

(1) 調査、記録

写真撮影し、修理前の状態を記録した。

(2) 汚れ除去

- ・柔らかい筆にて、文書表面の塵等を除去した（p.60, 工程写真19）。

(3) 補 紙

- ・包紙と同質の補修紙を作成し、調整した。
- ・包紙の欠失部分に補修紙を補填し、補強した（p.60・61, 工程写真20～22）。

(4) 仕 上 げ

- ・包紙については、文書を入れず、似通った大きさの詰め物を入れ、元の状態に封印した（p.63, 特記写真1参照）。
- ・文書及び包紙の手入れをし、仕上げた。

（5）収 納

- ・文書と詰め物を包んだ包紙をそれぞれ楮紙製の小箱に納入した（p.62, 工程写真23）。
- ・中性紙製保存箱を作製し、納入した。

9. 特記事項

（1）修理歴（再興についての文書および包紙）の処置について

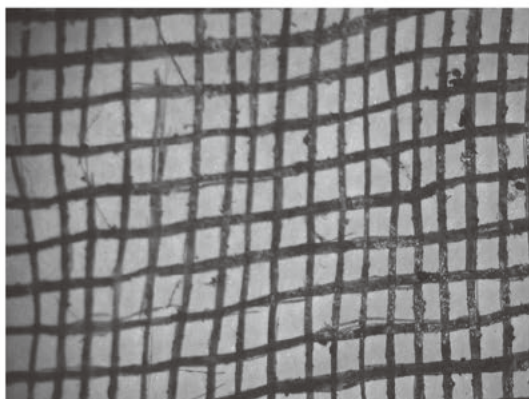
胎内納入品であることを踏まえ、伸展や加湿等の工程を行わず、情報の保存を骨子とした保存処置を行った。但し、展示活用の利便性を考慮し、包紙と文書は別置保存とした。その際、包紙には文書と似通った材質、形状の詰め物を納入して封印した（p.63, 特記写真1-1～1-4）。

（2）図像残欠三葉の配置について

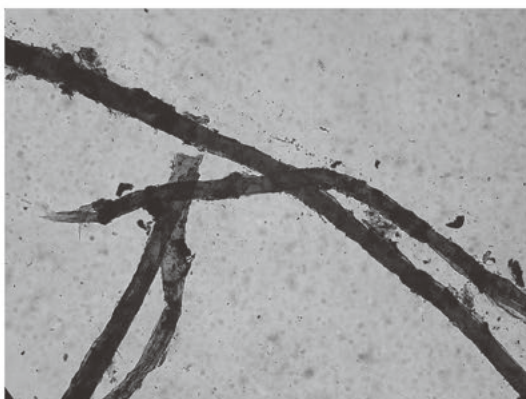
図像残欠三葉の配置については、所有者および京都国立博物館保存修理指導室研究員と協議し、国宝「絹本著色山越阿弥陀図」（禅林寺所蔵）中の尊像を縮尺したものを参考にした。その上で、所有者からの提案を受け、尊像の白毫から三門及び、三門から胸下までの距離を等分になる様調整して、残欠三葉の位置を配置した（編注：本書カラー図版p.14、参考図版）。

（3）中性紙製マットの仕様について

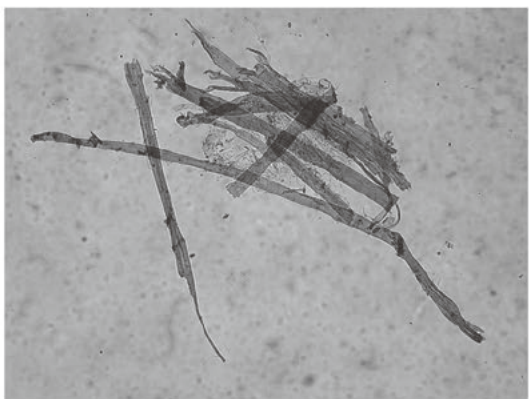
所有者の希望により、通常のブックマウントを改良した裏面観察が可能なマウント方式にした。今回の仕様では、頻繁もしくは、長時間の裏面観察用ではなく、通常の展示活用では従来のマウントに近い取扱いとし、出来る限り静置した状態での保存、収納を想定している。研究等のため特別の希望がある場合のみ裏面観察が出来るようになっているが、裏面観察の状態では本紙が太鼓貼りの状態となり、本紙の表裏が露出した状態であるため、取扱いに細心の注意を必要とする。



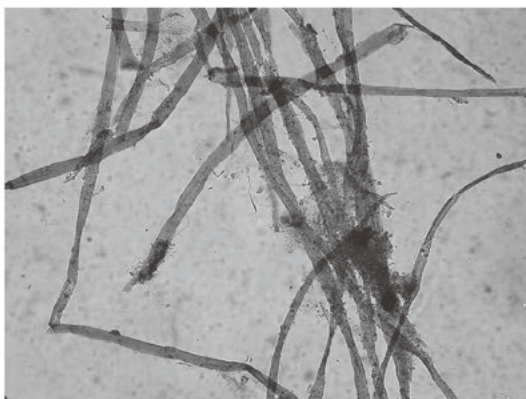
本紙等組成写真1
仏画残欠



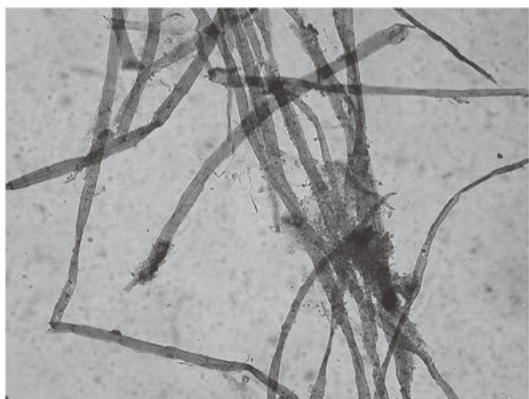
本紙等組成写真2
仏画残欠 旧裏打ち紙1層目
材質 楮



本紙等組成写真3
仏画残欠 旧裏打ち紙2層目
材質 雁皮



本紙等組成写真4
再興文書



本紙等組成写真5
包紙

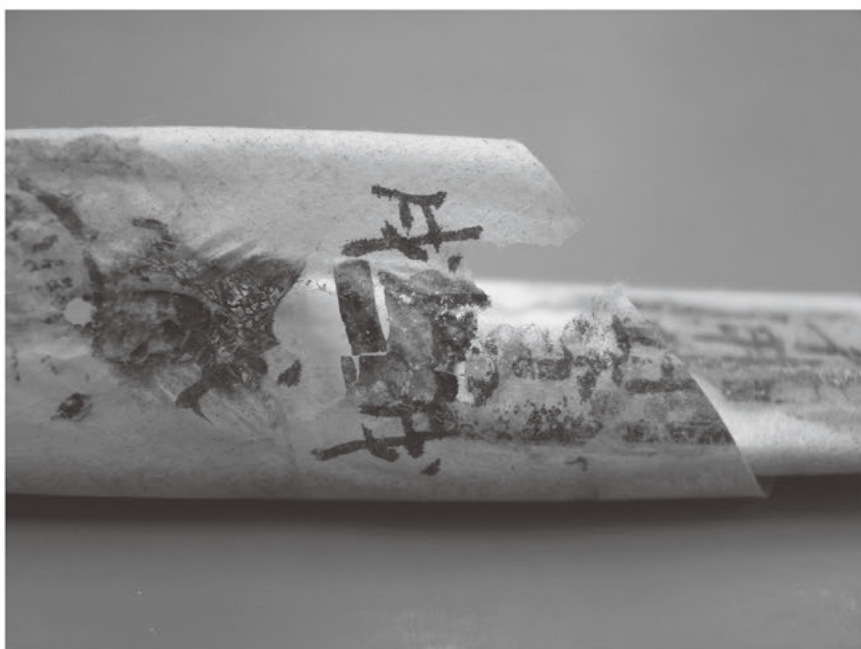
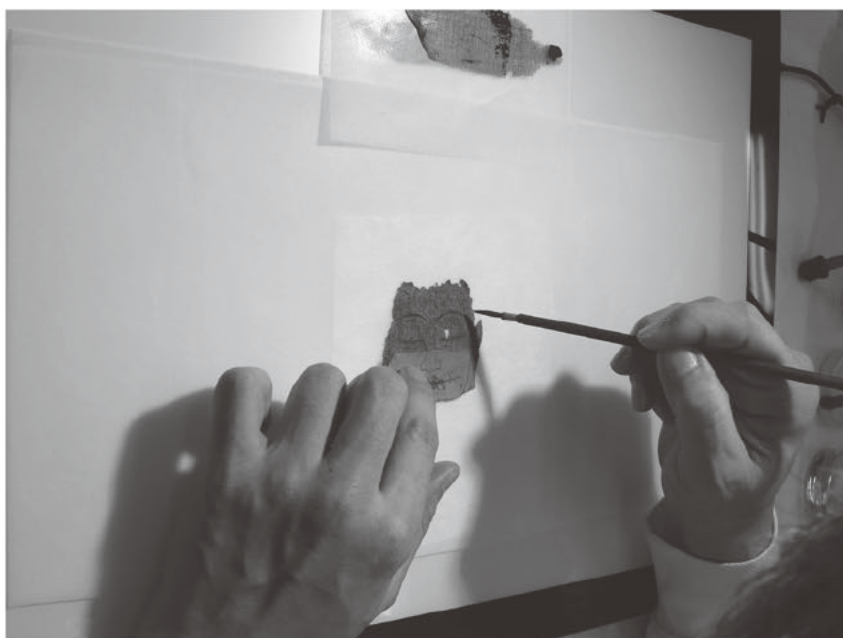


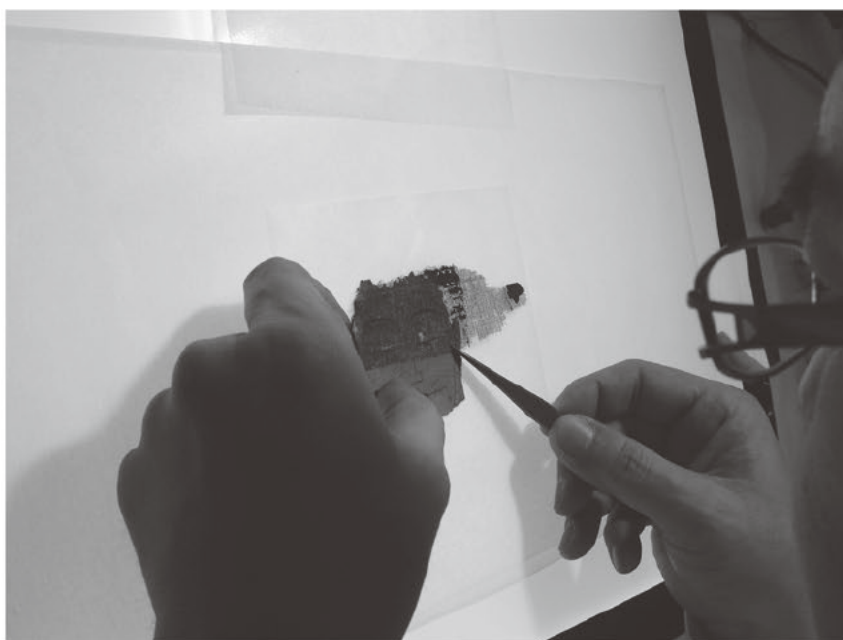
写真3 損傷 修理前 包紙
虫損



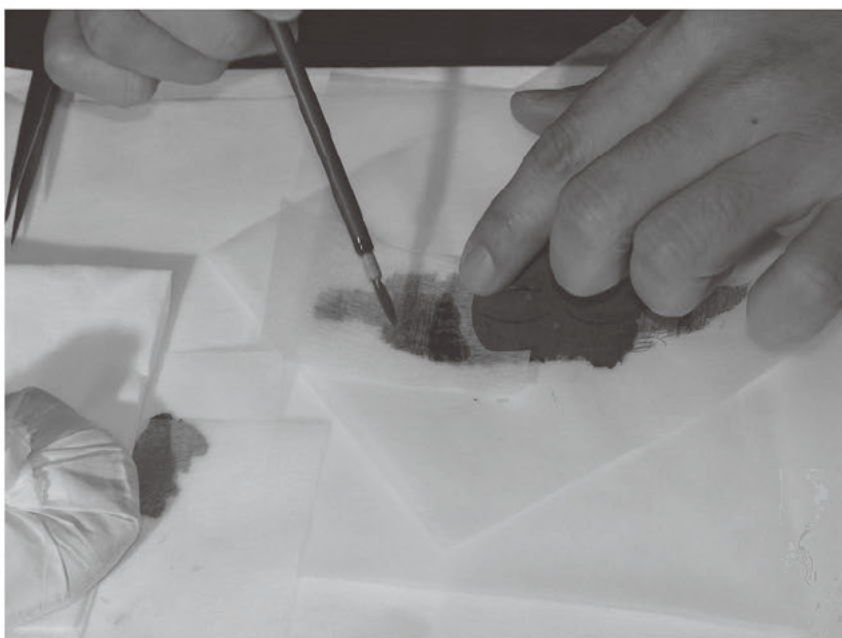
写真4 修理後



工程写真 3 仏画残欠
料絹の再接着 (2)



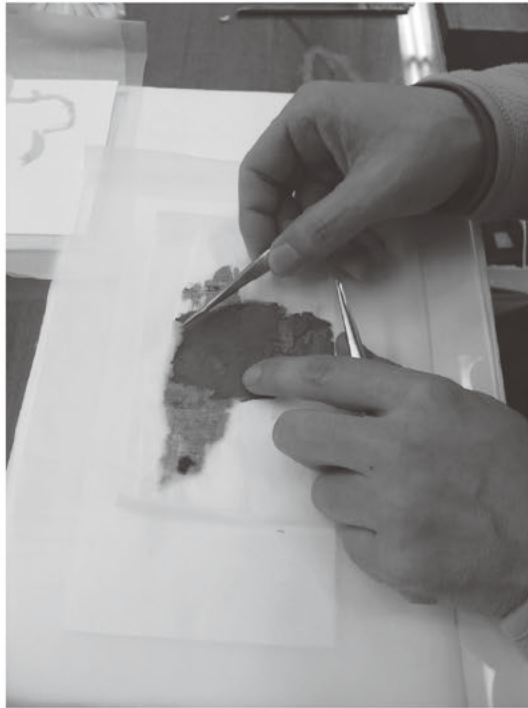
工程写真 4 仏画残欠
料絹の再接着 (3)



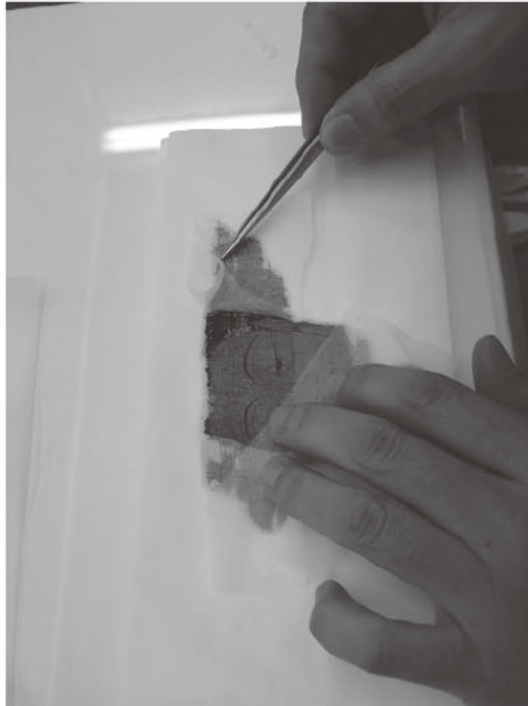
工程写真 5 仏画残欠
支持体の補填（1）表打ち



工程写真 6 仏画残欠
支持体の補填（2）肌裏紙の補填



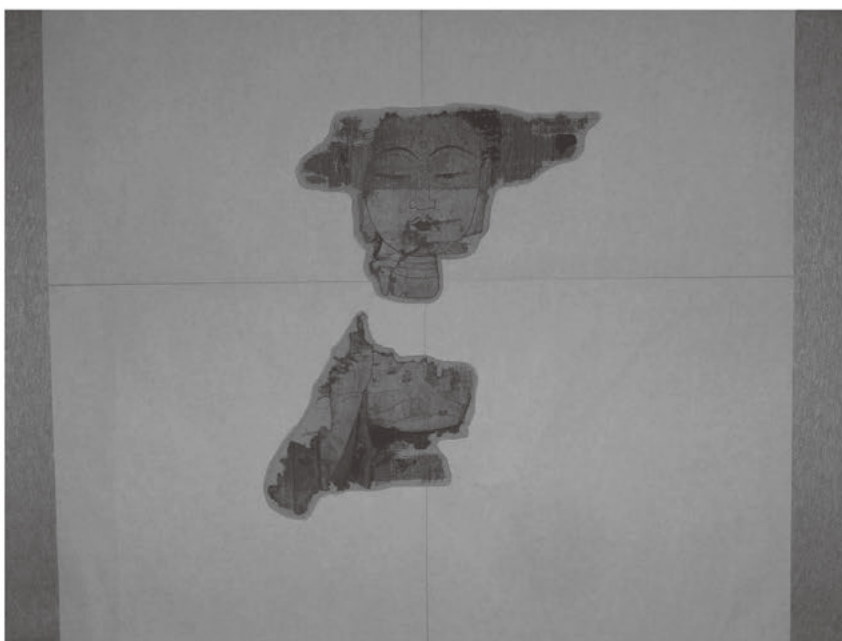
工程写真 7 仏画残欠
支持体の補填（3）肌裏紙の補填



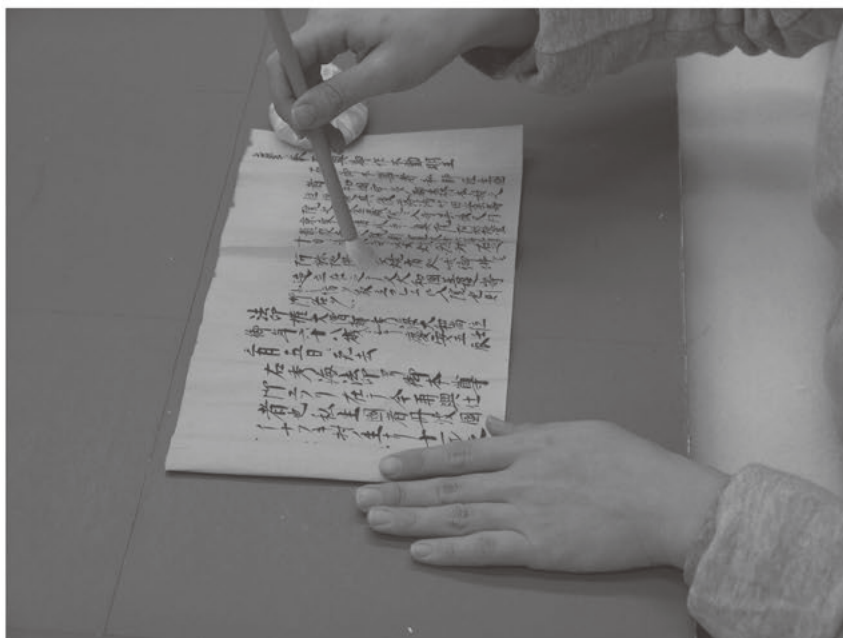
工程写真 8 仏画残欠
支持体の補填（4）表打ちの除去



工程写真 9 仏画残欠
支持体の補填 (5) 料絹の補填

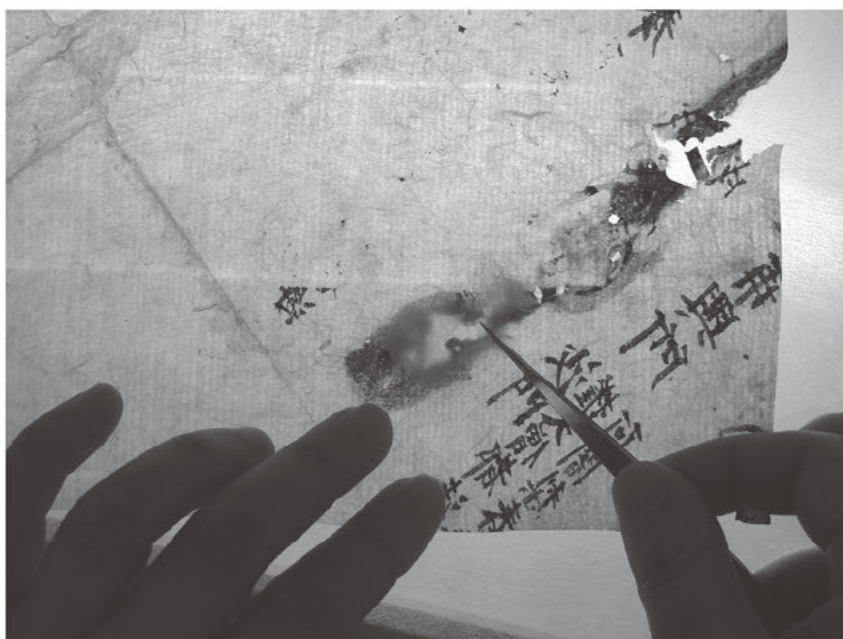


工程写真 10 仏画残欠
支持体の補填 (6) 支持体補填後



工程写真 19 修理歴（再興文書）

汚れの除去



工程写真 20 修理歴（包紙）

補紙（1）



工程写真 21 修理歴（包紙）
補紙（2）

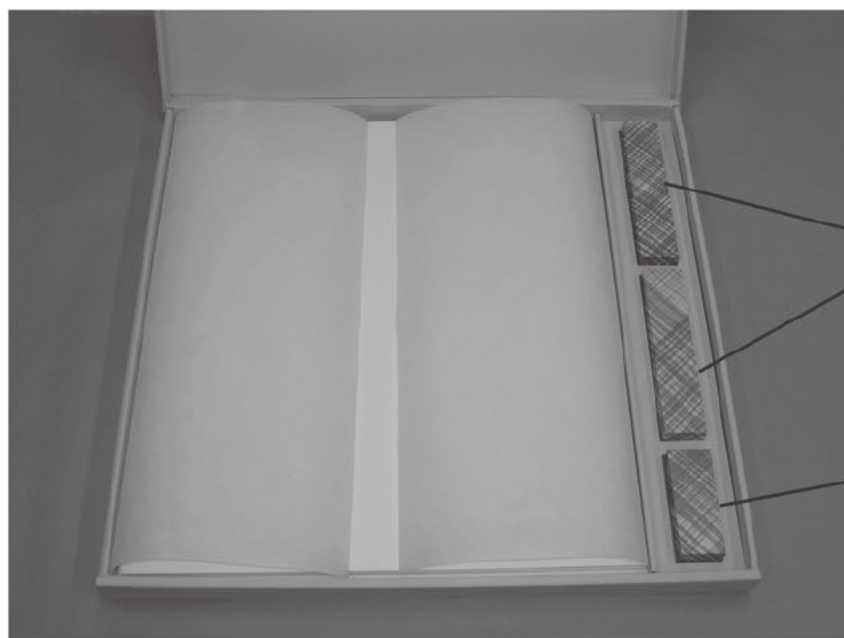


工程写真 22 修理歴（包紙）
補紙（3）



工程写真 23 修理歴（再興文書および包紙）

収納 文書と詰め物を包んだ包紙をそれぞれ格紙製の小箱に納入



再興文書および包紙用小箱
(工程写真 23 参照)

位置不明の断片等収納用小箱
(p25, 工程写真 17 参照)

(再掲) 工程写真 18 仏画残欠

収納 中性紙製保存箱

詰め物の作製



特記写真 1-1

左側が本紙、右側が包紙



特記写真 1-2

左側が詰め物、中央が本紙、右側が包紙

詰め物の納入



特記写真 1-3

詰め物を包紙で包む



特記写真 1-4

封をする

特記写真 1 詰め物の作製、納入